市政あれこれ

核兵器廃絶に向けた長崎の思いを発信

各国政府代表らが出席した
NPT再検討会議準備委員会

長崎の若者が外交の
最前線を肌で感じました

初の取り組みとなった
海外でのタウン・ミーティング

4月28日に国連本部で核不拡散条約（NPT）再検討会議の準備委員会が開幕。NPTでは、核兵器の縮減や拡散の状況を定期的に検討するため、5年ごとに再検討会議が、その間に、準備委員会が3回開催されます。

被爆70周年にあたる来年の再検討会議を前に行われた今回の委員会。平和首長会議の副会長として参加した田上市長は、各国代表やNGO関係者を前に「核兵器廃絶に向け、明確な行程表と確実な履行を」と力強くスピーチし、長崎の平和への思いを発信しました。

今回の訪米には、長崎大学・県・市とでつくる「核兵器廃絶長崎連絡協議会」の事業として、大学生で構成する「ナガサキ・ユース代表団」を派遣。各国代表者との意見交換などを通して継承の思いを強くしました。

また、現地の平和特派員と連携してニューヨーク市で初めて「タウン・ミーティング」を開催。会場の約100人の市民からは多くの質問も出され、長崎への理解を深める機会となりました。

■問い合わせ　平和推進課（☎844-9923）

見て、触れて、楽しみながら長崎の歴史を学ぶ

開館式典には孫文の出身地 中国・中山市の関係者も参加

4月26日、国指定重要文化財・旧香港上海銀行長崎支店記念館をリニューアル。リニューアルとともに「長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム」も開館し、各展示ケースにはタブレット端末が置かれ、説明文や動画で分かりやすく歴史を学ぶことができます。

中国近代革命の指導者・孫文を支えた梅屋庄吉ゆかりの品々が、国を越えた友情を今に伝えています。

■問い合わせ　観光政策課（☎829-1152）文化財課（☎829-1193）

MICE（マイス）を考える

今後、市内各地で説明会を行います（詳しくは32ページ）

5月18日、MICE（学会やイベントなど）への理解を深めてもらう「ながさきMICEフォーラム」を開催。

MICEの専門家による基調講演ではMICEの意味、効果や世界から九州に至る動向などについて説明があり、その後行われた有識者によるパネルディスカッションでは、長崎でのMICE開催の現状や課題、今後取り組むべき方向性について議論されました。

■問い合わせ　観光政策課（☎829-1152）